一般質問 要旨

農畜産物等のブランド化、流通販売対策に取り組むため
プロジェクトチーム発足

第一回定例会での市政に対する一般質問は、三月十三日、十六日の二日間行われ、十一人の議員が登壇した。副市長・教育長の公募、学校統合、中心市街地活性化、現代美術館の運営状況、市の財政、コンビニ収納、病院駐車場有料化、就学援助、市道の整備、病院赤字解消策など、活発な議論が展開された。要旨は次のとおり。

一般質問者紹介

岩城康一郎
山本富雄
石橋義雄
工藤正廣
畑山親弘
鳥越正美
舛甚英文
田中重光
堰野端展雄
今泉勝博
杉山道夫
（発言順）

注）発言順と掲載した順序とは一致しません。

総務文教

（仮称）教育福祉総合プラザについて

質問　（仮称）教育福祉総合プラザは今後どのように進めていくのか伺いたい。

答弁　市税収入等の伸び悩みや中央病院への負担増など、今後も逼迫した財政状況が続くものと想定されることから、財政状況の見通しがついた時点で商店街の活性化や建設時期、位置なども含め、総合的な観点から再検討することとした。

就学援助について

質問　就学援助の実態について伺いたい。

答弁　平成十九年度の小学校の支給対象児童数は、四千四十一人中五百二十四名で約一三％、支給総額は約一千百九十万三千円。中学校の支給対象生徒数は、二千百十人中二百五十八名で約一二％、支給総額は約一千四百四十三万一千円となっている。

新入学児童生徒については、平成十九年四月の認定者に入学準備として新入学児童生徒学用品費等を小学校児童六十八名に一人当たり一万九千九百円、中学校生徒六十八名に一人当たり二万二千九百円を支給している。

市役所駐車場について

質問　市役所駐車場の増設及び有料化について伺いたい。

答弁　市役所には毎日多くの市民が来庁されており、特に市民税の申告時期や転入転出時期などは既存の駐車場では十分な対応が困難となっている状況から、新年度において合併特例債を利用した本庁周辺整備事業により駐車場を拡大し、市民の利便性の向上を図っていきたい。

また、利用者の多くは窓口への来訪など、用件が短時間で済むと思われるので、現時点では有料化について考えていない。

市役所の西側駐車場

市ホームページについて

質問　市ホームページにおける市長室の設置について伺いたい。

答弁　市長の考え方や公務に関する活動情報についても、重要な行政情報の一つであり、また、開かれた行政を標榜する上でも有意義なことであるから、今後掲載内容や方法等について検討していきたい。

学校統合について

現在の四和中学校

質問　四和地区小中学校統合について伺いたい。

答弁　四和地区の米田、大不動、滝沢小学校を統廃合し、四和中学校と合わせて、現在の四和中学校の敷地に平成二十六年四月開校を目途に、新しい学校を建設予定である。また、地域住民に対しては、平成十九年度までに段階的に説明し、理解を得ている。規模は、平成二十一年二月一日現在のこれら学校の児童生徒数で、百二十九名程度と考えている。建設にかかる総工事費は、約十八億円と見積もっており、財源については、電源立地地域対策交付金を積み立てながら建設を進めていきたい。

副市長・教育長公募について

質問　公募制における目的、根拠は何か。特に教育長について伺いたい。

答弁　公募は、既成概念にとらわれず、改革前進を目指す市政運営を力強く手助けできる人材を発掘するためのものである。そして、発想の転換や業務の見直しが図られることにより、市の行政が活性化され、結果として市民生活の向上が図られることを期待している。

また、教育長については、その専門性もさることながら、その重責を人並み以上の熱意と行動力を持って果たしてくれる方に十和田市の教育行政を担ってほしいと考えている。